

# 菜種栽培 農家委託

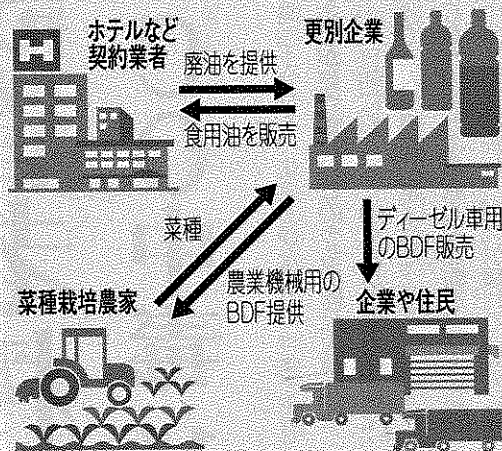
【更別】軽油代替燃料のバイオディーゼル燃料(BDF)を廃植物油から製造する廃棄物処理業の更別企業(十勝管内更別村、急広正彦社長)は、十勝管内で栽培した菜種を原料としてBDF製造に乗り出す。同管内豊頃町に道内最大の製造能力を持つ工場を建設。今夏にも着工し、年内に一部を稼働させる方針だ。(解説9面に)

## 更別企業 豊頃に今夏、最大工場

不足する廃植物油に加えて菜種を活用すること  
BDFの原料を多様化し、事業規模の拡大につなげる狙い。農水省資源循環室によると、BDF

を廃植物油から製造する業者は多いが、菜種など植物原料から直接製造するのは全国でも珍しいという。新工場は敷地面積一万

菜種を原料としたBDF・食用油製造の流れ



並行 2007-1-20(土)

# BDFと 食用油に

バイオディーゼル燃料(BDF)植物や廃植物油を精製して造る軽油の代替燃料。ディーゼル車や農業機械にそのまま使用できる。燃焼時に二酸化炭素を排出するが、植物が成長段階で吸収したものを再放出しているため、地球温暖化防止を旨とする京都市議定書上では排出ゼロとされる。日本ではほとんどのBDFが廃植物油から造られるが、欧州では菜種などの植物原料が主流。

平方メートル。BDFの製造能力は年間七百五十ト。一般企業に軽油より安価で販売するほか、菜種栽培農家に農業機械用燃料として提供する。

また、食用油も年間約三百トを製造し、特産品として販売する。ホテルなど特定の業者に購入してもらい、使用済みの廃油を回収してBDFの原料にする仕組みも取り入れられる。工場の上屋や製造設備など、四億円弱に上る施設整備費は、バイオ燃料を支援する国の補助金も

活用したい考え。原料の菜種は今年、更別村や豊頃町などの農家約十戸に委託し、約三十トで栽培する。二〇〇九年には作付面積を百トまで拡大する計画。農地を借りて自ら栽培することも検討している。工場ではこのほか、採

油やBDF製造の体験や、造った燃料でカーカートに乗ってもらう専用のコースも設置する。更別企業は現在、家庭や飲食店などから廃食用油を回収してBDFを製造しており、道内最大規模の年間百二十トを誇る。本年度には、北海道新エネルギー促進大賞も受けた。